

部局名	都市整備部	所属名	土木管理課	所属長名	高橋 陽一	電 話	483-1151 内線3610
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3286		事務事業名称	土木総務事業					短縮コード	経常	3286	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	・道路法 ・八千代市道路占用料徴収条例 ・八千代市道路占用規則 ・屋外広告物法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
道路法(昭和27年)及び千葉県屋外広告物条例(昭和44年)の制定と千葉県から八千代市への事務委任による。 市道の管理に関する総括的事務として、道路占用許可申請事務と屋外広告物許可申請事務。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画 の 施策 体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
都市化の進行と、上下水道や都市ガスの普及に伴い、件数が増加している。 景気に連動して増減する。						大項目（節）	02	道路					
						中 項 目	02	市道					
						小項目（施策）	02	一般市道の整備					
						細 項 目	01	市道の管理					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市道の占用者と屋外広告物設置者。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 許可申請書を審査し、許可書を発行した。 不法に掲出された広告物について掲出者に撤去を指導した。						
	※平成20年度に計画していること： 平成19年度と同じ。						
意図 （何を狙っているのか）	街の美観風致を維持するとともに占用工事を計画的に実施し、道路の安全で快適な通行の確保。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	道路占用許可申請件数	件	1,224	1,200	1,205	1,200
	指標2	屋外広告物等表示(設置)許可申請件数	件	101	55	89	73
	指標3						
活動指標	指標1	道路占用許可件数	件	1,224	1,200	1,205	1,200
	指標2	屋外広告物等表示(設置)許可件数	件	101	55	89	73
	指標3						
成果指標	指標1	道路占用申請許可実績	%	100	100	100	100
	指標2	屋外広告物等表示（設置）申請許可実績	%	100	100	100	100
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3286	事務事業名称	土木総務事業			所属名	土木管理課
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	2,074	3,045	2,794	2,169	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			普通旅費・消耗品費・印刷製本費・修繕料・通信運搬費・手数料・保険料・委託料・使用料及び賃借料・負担金・公課費	普通旅費・消耗品費・印刷製本費・修繕料・通信運搬費・手数料・保険料・委託料・使用料及び賃借料・負担金・公課費	普通旅費・消耗品・印刷製本費・修繕料・通信運搬費・手数料・保険料・委託料・使用料及び賃借料・負担金・公課費	普通旅費・消耗品・印刷製本費・修繕料・通信運搬費・手数料・保険料・使用料及び賃借料・負担金・公課費	
	人件費(B)			千円	21,883.9	21,853.7	17,974.4	
トータルコスト(A)+(B)			千円	23,957.9	24,898.7	20,768.4	20,143.4	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由							
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	道路機能を維持することが、快適な交通環境整備の推進に結びつくため。							
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	今後も市道の管理業務を続けていく必要があるため。							
			☒ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	道路法３２条により、道路占用許可は道路管理者が行うため。							
			☒ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	根拠法令に基づく業務執行が出来ているため。							
			☐ 見直す必要がある								
			☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性がある								
			☐ 効率性向上の可能性がある								
			☒ 両方可能性がある								
			☐ 可能性がない								
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1	実施主体 (所管部署)					
			☐ 臨時的任用職員等の活用								
			☒ ＩＴ化等業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し			実施主体 (所管部署)					
			☐ 上記以外の方法								
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）					☒ ある	パソコン購入による一時的な経費増と、データ入力の手間が必要になる。		
								☐ ない			

コード	3286	事務事業名称	土木総務事業				所属名	土木管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			市道の管理に関する総括的事務として、道路占用許可申請事務と屋外広告物許可申請事務を適切に行っているが、事務量が毎年増加傾向にあり、事務の効率を図る上で、データ化処理への移行が望ましい。 道路機能の維持・管理について、不法に掲出された広告物が増加していく可能性があるので改善策を検討してる。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			パソコン導入によるコストの増加、事務処理の向上成果が考えられる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
占用工事による振動等の苦情と不法占用物件や広告物に対する指導取締りを求める要望が多い。									

所属長コメント	不法占用物件や広告物に対する指導を取り締まる要望が多く、電子処理に移行した体制での迅速な対策の必要が生じる。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			IT化については費用対効果を検証した上で、推進を図るべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									